

わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会
令和8年1月14日
ホームページ
にも掲載



山口県の公立小・中・高校は全て「コミュニティ・スクール」です。コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」を設置している学校のことです。委員である地域の家庭、住民、企業・大学の方等の声を学校運営に生かし、地域とともに特色ある学校づくりを目指しています。今回は、学校運営協議会の紹介とともに、多くの学校で実施されてきている大人と子供が一緒に語り合う熟議の様子をお届けします。

学校運営協議会の一年間について



山口県教育委員会作成
CSハンドブック、参考動画



学校運営協議会は、主に「協議と承認の場」です。下関市教育委員会では、毎年各校に、学校運営協議会委員（最大15名）を委嘱しており、年度末と年度初めに、委員による学校運営に関する基本方針の「承認」が行われています。開催日数は、学校によって異なりますが、年度途中には、学校運営上の課題やカリキュラム及び評価についての「協議」を行っています。このように、地域の家庭、住民、企業・大学等の様々な視点からご意見をいただき、学校運営の課題解決や特色ある学校づくりに生かしています。

大人と子供が意見を出し合う熟議(じゅくぎ)



例A. 学校運営協議会の場で熟議



例B. 全教職員・保護者・地域住民で熟議



例C. 児童生徒も一緒になって熟議

山口県教育委員会作成CSハンドブックより

学校運営は、学校運営協議会だけで行うものではなく、全教職員及び保護者、地域住民、さらには児童・生徒が共に行うものです。下関市の地域連携教育では、キーワードとして児童・生徒の「参加とともに参画」を学校内外で推進しており、今年度も、たくさんの学校で児童・生徒を交えた熟議が開催されました。アンケート「地域の人々と話し合う場（熟議）」に参加して、発言したことがありますか？（山口県学力定着状況確認問題質問紙11月実施）では、肯定率【令和6年度21.9%→令和7年度26.5%】が上がっています。今後も地域とともに、子供たちが主体性をもってわくわくドキドキする教育を展開していきたいと思います。



小月小学校 5年生×学運協委員



彦島中学校・文洋中学校・長成中学校 生徒会役員×教職員×学運協委員

